

【新規】土佐町 第2期SDGs 未来都市計画

計画名	土佐町 第2期SDGs 未来都市計画 (R5.4策定)		
提出機関名	土佐町	対象地域	土佐町及び早明浦ダム・鏡ダムに係る流域
メイン課題	貯留・涵養、地域振興		
計画概要	早明浦ダムが位置する「水源のまち土佐町」は、「どこよりも水の価値を育むまち」「町に暮らす全ての人々が“質の高い”教育や「学び」の機会を得られるまち」「地域の資源から新たな経済循環を創出するまち」等を目指して施策を推進し、「全ての住民ひとりひとりの個性を最大限発揮できる」持続可能なまちづくりに取り組む。		
計画の特徴	気象、地形、土地利用などの関連データを活用した「水循環解析調査」により水源涵養にとっての山林整備の重要性等を整理。山林や水の多面的機能の発揮と持続可能な林業経済の両立のため山林のゾーニング、他市町村等も含む利水域との広域連携による中間支援組織及び資金循環の仕組みづくりに取り組むことで「地域循環共生圏」の創造を推進。		



計画対象地域（うち土佐町）

【実施体制】

土佐町（計画策定主体）

地方公共団体	都道府県	○
	政令指定都市	-
	市区町村	○
国の地方支分部局	-	
有識者	○	
事業者	○	
団体（NPOなど）	○	
住民	○	
その他（ ）	-	

○計画体系

永遠の水源地
 $Origin \times [3,626] \times X \text{ (エックス)} = \text{Sustainable}$
 ※ [3,626] は町の現在人口であり毎月更新する

- どこよりも水の価値を育むまち
- 町に暮らす全ての人々が“質の高い”教育や「学び」の機会を得られるまち
- 地域の資源から新たな経済循環を創出するまち
- 地域に暮らす多様な人々が、「誰ひとり取り残されず」活躍するまち
- 豊かな自然とコンパクトな市街地が共存する、暮らしやすいまち

水源 (Origin) に生きる全ての住民ひとりひとりの個性 (X) を最大限発揮できることが持続可能なまちの姿であるという考えを表している

2030年の目指す姿（数値は計画策定時点）



上下流が連携し、水源の保全・涵養、山林の活用等を同時実現する中間支援組織を構築。組織は、水源の涵養に係る新産業創出や、投資、人材確保及び育成を、成果連動型事業として実施。

中間支援組織に係る体系図

○推進体制・進行管理

事業は、住民、企業・金融機関、教育・研究機関、NPOなどと連携し実施。住民や有識者等で構成される「土佐町SDGs推進会議」を4半期毎に開催し、進捗状況や評価結果などを踏まえた計画見直しを実施。

